



文武両輪

ぶん ぶ りょう りん
～学習も行事も部活動も～

令和4年6月14日

【文責】校長 葛川 誠

「私が変われば、世界も変わる！」 ～持続可能な世界と社会を目指して～

6月6日(月)、2年生が「SDGsカードで体験ワークショップ」を実施しました。講師に合同会社8(エイト)代表の赤澤勝崇さんをお招きし、他にスタッフ4名が加わった計5名の指導と支援のもと、SDGsを学ぶ体験学習を実施しました。内容は「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」「SDGsによって私たちの生活や世界にどんな変化や可能性が起こるのか」をカードゲームとファシリテーター(赤澤さん)の進行・運営によって体験的に学ぶものでした。

SDGsとは、2015年に国連が出した目標で、日本語では「持続可能な開発目標」と言います。2030年までに達成すべき17の目標が示されていますが、これらの目標は、私たちの世界と社会が将来にわたってずっと続いていくようにするための目標です。

カードゲームを通して、生徒たちは私たちの世界で大切なのは「経済」、「環境」、「社会」のバランスをよくしていくことを、しっかりと学ぶことができました。また、だれ一人取り残されない社会を実現するためには、全ての人々が協力して平等な社会を創り上げることも学びました。そして、SDGsの全ての目標を達成していくには、普段の生活からの意識を変えることで行動を変えること、「私が変われば世界も変わる」という意識をもつことだと思えます。

各学級の生徒の“振り返り”を紹介します。(一部抜粋、注は筆者)

2年1組 及川 陽平

SDGsについて、カードで楽しく学べてとても楽しかったです。ゲームの前半は、お金やプロジェクトで頭がいっぱいだったけれど、後半になって世界の環境をよくするために、他の班と協力することができました。環境をどうにかするために、一人一人の行動が大事だということがわかりました。これからの生活では、今日の活動のようなコミュニケーションをしたり、たかにゃんさん(注 赤澤さん)のようにわかりやすく説明や話し合いができたりするように頑張っていきたいです。

2年2組 富田 さつき

私は小学生の頃から、SDGsについて興味をもって、「ジェンダー平等」のことを調べていました。昔はあまり受け入れられていなかったけれど、最近では、例えば洋服屋さんのマネキンが男女の骨格の混ざったものがあったり、多くの洋服屋さんで「ジェンダー平等」の取組が進めていたりして、すごいなあと思いました。8年後には、SDGsが当たり前になっている社会になってほしいです。これからはSDGsを意識して生活し、世界中にSDGsを楽しく発信できる人になりたいです。

2年3組 佐々木 心悠

世界の10人に1人は満足に食べ物が食べることができずに貧困に苦しんでいることや私たちと同じ年齢なのにもう働いている子どもが世界にはたくさんいることを知って、とても悲しい気持ちになりました。さらに、貧しい生活をしている人は勉強することができないために満足に働くことができず、子どもが生まれてもその子どもも小さい時から働かなければならないため、貧困の連鎖が起こっていることがわかりました。これからは、SDGsで学んだことをもとに、自分ができるところを探していきたいと思えます。

(一部抜粋・修正、注は筆者)